



Tanium™ Deploy ユーザーガイド

バージョン 1.2.1

2020年1月10日

この文書の内容は予告なく変更されることがあります。また、本書に記載の内容は「現状のまま」提供されており、正確には万全を期しておりますが、Taniumの顧客販売契約に規定されている保証を除き、明示または暗黙を問わずいかなる保証もしません。別段の規定がない限り、Taniumはいかなる責任も負いません。Taniumおよびそのサプライヤは、Tanium Inc.がかかる損害の可能性を事前に通知されていたとしても、本書の使用または使用できないことから生じる、利益損失やデータ損失をはじめとする間接的損害や特別損害、結果的損害、および付随的損害に対して一切の責任を負いません。

本書で使用されているIPアドレスは、実際のアドレスであることを意図していません。本書に記載されている例、コマンド表示出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、例示の目的にのみ使用されています。例示コンテンツに実際のIPアドレスが使用されていたとしても、特別な意図はなく、偶然です。

最新のTanium製品のマニュアルについては、<https://docs.tanium.com> を参照してください。

Taniumは米国およびその他の国におけるTanium, Inc.の商標です。記載されているその他の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

© 2019 Tanium Inc. All rights reserved.

目次

Deployの概要	7
デプロイパッケージ	7
バンドルのデプロイ	8
デプロイパッケージギャラリー	8
適用範囲スキャン	10
パッチの適用	10
メンテナンスウィンドウ	11
セルフサービスプロファイル	11
はじめに	12
要件	13
Taniumの依存関係	13
Tanium ServerとModule Server	13
エンドポイント	15
システム環境変数	15
ホストとネットワークセキュリティの要件	16
ポート	16
セキュリティの除外	16
ユーザーロールの要件	17
Deployのインストール	21
使用を開始する前に	21
Deployのインポート	21
サービスアカウントを設定する	22
Tanium End-User Notificationsをインストールする	22

コンピュータグループを整理する	22
Deployのアクショングループにコンピュータグループを追加する	23
エンドポイントを初期化する	23
Deployをアップグレードする	24
次にやるべきこと	25
パッケージとバンドルの管理	26
使用を開始する前に	26
ソフトウェアパッケージを作成する	26
適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数	28
WMIクエリ	28
ソフトウェアパッケージをエクスポートする	29
ソフトウェアパッケージをインポートする	29
ソフトウェアパッケージカタログを配布する	29
ソフトウェアパッケージの適用範囲を表示する	29
ソフトウェアバンドルを作成する	30
ソフトウェアパッケージまたはバンドルを編集する	31
ソフトウェアパッケージまたはバンドルをコピーする	31
ソフトウェアパッケージまたはバンドルを削除する	31
パッケージギャラリーの管理	32
使用を開始する前に	32
パッケージギャラリーからソフトウェアパッケージをインポートする	32
ソフトウェアパッケージカタログに新しいパッケージを置き換えるか追加する	33
パッケージとバンドルのデプロイ	34
概要	34
使用を開始する前に	34

ソフトウェアパッケージのデプロイを作成する	34
エンドポイントの再起動	36
ソフトウェアバンドル用のデプロイを作成する	39
パッチの適用に関する要約を確認する	41
パッチの適用を再発行する	42
パッチの適用を停止する	42
パッチ適用テンプレートの作成	42
メンテナンスウィンドウの管理	44
メンテナンスウィンドウのオプション	44
メンテナンスウィンドウを作成する	45
メンテナンスウィンドウを編集する	45
メンテナンスウィンドウを上書きする	45
メンテナンスウィンドウを削除する	46
セルフサービスアプリケーションの使用	47
使用を開始する前に	47
セルフサービスプロファイルを作成する	47
セルフサービスプロファイルを表示する	47
セルフサービスプロファイルを編集する	48
セルフサービスプロファイルを削除する	48
使用統計情報を追跡する	48
エンドポイントでセルフサービスクライアントを使用する	48
Deployのトラブルシューティング	50
トラブルシューティングパッケージを収集する	50
エンドユーザー通知が表示されません	51
ソフトウェアパッケージに対する適用範囲情報がありません	51

パッケージギャラリーページにソフトウェアがない	52
Deployのアンインストール	53

Deployの概要

Deployは、最小限のインフラストラクチャ要件で大規模な組織全体でソフトウェアを迅速にインストール、更新、および削除するために使用できる、ソフトウェア管理モジュールです。IT運用に便利なメンテナンスウィンドウで、実行するパッチの適用を作成できます。

アプリケーションまたはアプリケーショングループを、コンピュータグループ、ユーザーグループ、部門、場所、個々のコンピュータ、および個々のユーザーなどを対象に、フレキシブルにデプロイできます。既存のソフトウェアのインストールを最新バージョンに更新することもでき、インストールするカスタムパッケージを作成、更新、アプリケーションの削除ができます。

デプロイパッケージ

Tanium Deployソフトウェアパッケージは、Taniumが管理するデバイスのソフトウェアの検出、インストール、更新、および削除に使用する、ソースファイル、メタデータ、検出ロジック、およびアクションの組み合わせです。

各ソフトウェアパッケージには、次の要素が含まれています。

パッケージファイル(インストールソースファイル)

管理対象デバイスにアプリケーションをサイレントインストールするために必要なファイル。たとえば、msi/ exeインストーラ、リソースファイル/フォルダ、構成ファイル、カスタムスクリプト、カスタムレジストリファイル、ライセンスキーなどです。

一般情報

ソフトウェアパッケージのベンダー、名前、およびバージョン。この情報は利用可能な場合にソースファイルから自動的に取得します。

システム要件

このソフトウェアパッケージがエンドポイントで実行されるための最低要件：最小オペレーティングシステムとバージョン、最小ディスクスペース、およびシステムの最小RAM。

要件(前提条件)

前提条件ソフトウェアパッケージに関連付けられている検出ルールへのリスト。各前提条件ソフトウェアパッケージには、1つまたは複数のルールが関連付けられています。

更新検出

このソフトウェアパッケージの以前のバージョンに関連付けられている検出ルールの一覧。この一覧は、このパッケージによって更新可能な以前のソフトウェアインストールを判別します。

操作タイプ

各ソフトウェアパッケージには多数のサポートされている操作があります。各パッケージには、インストールおよびアンインストールの操作タイプがあり、名前の付けられたカスタム操作をソフトウェアパッケージに追加できます。

インストール検証

パッケージのインストールが完了したかどうかを判断するための検出ルールの一覧。

バンドルのデプロイ

Tanium Deployソフトウェアバンドルは、順序付けられたシーケンスでデプロイおよび実行できるDeployソフトウェアパッケージの一覧です。ソフトウェアバンドルは、特定の部門またはユーザータイプが使用するパッケージの一覧のデプロイに使用されます。

詳細については、[26ページのパッケージとバンドルの管理](#)を参照してください。

デプロイパッケージギャラリー

Tanium Deployパッケージギャラリーは、ソフトウェアパッケージテンプレートを配布するために使用できるソフトウェアパッケージのコレクションです。これらのテンプレートには、サードパーティソフトウェアをインポートおよびデプロイするために必要なすべての情報が含まれています。

対応アプリケーション:

- 7-Zip (32/64ビット) - 最新バージョン
- Adobe Acrobat DC (更新のみ) - 最新バージョン
- Adobe Acrobat Reader DC - 最新バージョン
- Adobe AIR - 最新バージョン
- Adobe Digital Editions - 最新バージョン
- Adobe Flash Player (ActiveX/NPAPI/PPAPI) - 最新バージョン
- Adobe Shockwave EOL (削除のみ)
- Box Drive (32/64ビット) - 最新バージョン
- Citrix Workspace(旧 Citrix Receiver) - 最新バージョン

- code4ward Gmbh Royal TS - 最新バージョン
- Dropbox - 最新バージョン
- FileZilla (32/64ビット) - 最新バージョン
- Google Android Studio - 最新バージョン
- Google Chrome Enterprise (32/64ビット) - 最新バージョン
- Google Drive File Stream - 最新バージョン
- Microsoft Power BI Desktop (32/64ビット) - 最新バージョン
- Microsoft Silverlight (32/64ビット) - 最新バージョン
- Microsoft Skype Desktop Client (32ビット) - 最新バージョン
- Microsoft Visual Studio Code (32/64ビット) - 最新バージョン
- Microsoft Windows 10 アップグレード (32/64 ビット) - 1803、1809、1903
- Mozilla Firefox (32/64ビット) - 最新バージョン
- Mozilla Firefox ESR (32/64ビット) - 最新バージョン
- Notepad++ (32/64ビット) - 最新バージョン
- Oracle Java 8 Runtime (32/64ビット) - 最新バージョン
- VideoLAN VLC Media Player (32/64ビット) - 最新バージョン
- Vmware Workstation Player (更新と削除のみ) - 最新バージョン
- Wireshark (32/64ビット) - 最新バージョン
- Zoom - 最新バージョン
- Zoom Outlookプラグイン - 最新バージョン

次の監査のみのソフトウェアパッケージテンプレートが、監査とレポートを目的として使用されません。これらのパッケージにはソースファイルまたはコマンドが配布されていませんが、ソフトウェアがインストールされているか古くなっているかを判断するためのロジックがあります。

- Adobe After Effects CC - 最新バージョン
- Adobe Animate CC - 最新バージョン
- Adobe Audition CC - 最新バージョン
- Adobe Dreamweaver CC - 最新バージョン
- Adobe Illustrator CC - 最新バージョン
- Adobe InDesign CC - 最新バージョン
- Adobe Photoshop CC - 最新バージョン
- Adobe Prelude CC - 最新バージョン
- Adobe Premiere Pro CC - 最新バージョン

詳細については、[32ページのパッケージギャラリーの管理](#)を参照してください。

適用範囲スキャン

Deployソフトウェアパッケージカタログにあるソフトウェアパッケージの適用範囲スキャンの実行頻度と、適用範囲ステータスのキャッシュが更新される頻度を設定できます。

適用範囲スキャンは、必要なオペレーティングシステム、最小ディスク容量、メモリ、および要件からエンドポイントを評価します。各ソフトウェアパッケージは、定期的に評価され、Tanium管理対象デバイスがインストール可能か、アップデート対象か、インストール済みか、または要件が満たされているかどうかを判断します。

Install Eligible (インストール可能)

ソフトウェアがインストールされておらず、システム要件が満たされているシステムの数。

Update Eligible (アップデート可能)

以前のバージョンのアプリケーションが1つまたは複数検出され、ソフトウェアパッケージの更新が行えるシステムの数。

Installed (インストール済み)

ソフトウェアパッケージがすでにインストールされているシステムの数。

Update Ineligible (更新不能)

以前のバージョンのアプリケーションの1つ以上が検出されたが、システム要件が満たされていないシステムの数。

Not Applicable (適用外)

システム要件または前提条件が満たされていないシステムの数。

パッチの適用

デプロイは、対象となるエンドポイントでアプリケーションをインストール、更新、または削除するための1回限り、または繰り返されるアクションです。詳細については、[34ページのパッケージとバンドルのデプロイ](#)を参照してください。

メンテナンスウィンドウ

メンテナンスウィンドウでは、対象コンピュータがデプロイの実行を許可する時間を指定します。複数のメンテナンスウィンドウを構成できます。重複する時間帯でも可能です。メンテナンスウィンドウは相互に干渉しません。デプロイを有効にするには、デプロイとメンテナンスウィンドウの時間が適合する必要があります。詳細については、[44ページのメンテナンスウィンドウの管理](#)を参照してください。

セルフサービスプロファイル

Deploy 1.2にはセルフサービスアプリケーションを導入され、そのためソフトウェアをエンドポイントに公開できるので、ITがソフトウェアをインストールする必要がなくユーザーが自分でインストールできます。セルフサービスプロファイルおよびセルフサービスアプリケーションは、Tanium™ End-User Notifications 1.5以降のセルフサービスユーザーインターフェイスと併せて使用されます。詳細については、[47ページのセルフサービスアプリケーションの使用](#)を参照してください。

この文書には、第三者が提供するコンテンツや製品(ハードウェアおよびソフトウェアを含む)、サービス(「第三者のアイテム」)に対するアクセス手段や、第三者のそうした情報そのものが含まれていることがあります。Tanium Inc.およびその関連会社は、(i)それらの第三者のアイテムに対して責任を負うものではなく、第三者のアイテムに関するすべての保証および責任を明示的に放棄し、(ii)お客様とTaniumとの間の有効な契約に明記されているのでない限り、かかる第三者のアイテムへのアクセスや、利用に起因する損失、費用または損害について責任を負いません。

また、この文書は、特定の第三者のアイテムの使用やTanium製品との組み合わせを求めるものでも、想定するものでもありません。そのような組み合わせによって生じた知的財産権の侵害について、Taniumおよびその関連会社は一切責任を負いません。第三者のアイテムとTanium製品の組み合わせが適切であるかどうか、また第三者の知的財産権を侵害しないかどうかの判定の責任はTaniumではなくお客様にあります。

はじめに

1. Deployをインストールします。[21ページのDeployのインストール](#)を参照してください。
2. ソフトウェアパッケージを作成します。[26ページのパッケージとバンドルの管理](#)を参照してください。
3. デプロイを作成します。[34ページのパッケージとバンドルのデプロイ](#)と[44ページのメンテナンスウィンドウの管理](#)を参照してください。
4. セルフサービスアプリケーションを構成します。[47ページのセルフサービスアプリケーションの使用](#)を参照してください。

要件

Deployをインストールして使用する前に、要件を確認してください。

Taniumの依存関係

Deploy製品モジュールのライセンスに加えて、ご使用の環境が以下の要件を満たしていることを確認してください。

コンポーネント	要件
Platform	7.2.314.3019以降。 Tanium™ Interactのインストールも推奨されます。
Tanium Client	6.0.314.1540以降 (Windows 7 Service Pack 1以降、およびWindows Server 2008以降) 7.2.314.2962以降 (Windows 7 Service Pack 1以降、およびWindows Server 2008以降)
Tanium End-User Notifications	1.5.0.0060以降。

Tanium ServerとModule Server

Deployがインストールされ、Module Serverのホストコンピュータ上のサービスとして実行されます。使用状況によりませんが、Module Serverへの影響は小さいです。

Tanium Serverでは、パッケージギャラリーテンプレートのバイナリをダウンロードするために、次のウェブサイトにアクセスする必要があります。

ソフトウェアパッケージ	ドメイン	ポート
7-zip	7-zip.org	443
Adobe Acrobat DC ¹	download.adobe.com	443
Adobe Acrobat Reader DC	download.adobe.com	443
Adobe AIR	download.macromedia.com	443
Adobe Digital Editions	adedownload.adobe.com	443
Adobe Flash Player	fpdownload.macromedia.com	443

ソフトウェアパッケージ	ドメイン	ポート
Adobe Shockwave EOL ²	fpdownload.macromedia.com	443
Box Drive	e3.boxcdn.net	443
Citrix Workspace(旧 Citrix Receiver)	downloadplugins.citrix.com	443
code4ward GmbH Royal TS	download.royalapplications.com	443
Dropbox	clientupdates.dropboxstatic.com	443
FileZilla	download.filezilla-project.org	443
Google Android Studio	dl.google.com	443
Google Chrome	dl.google.com	443
Google Drive File Stream	dl.google.com	443
Microsoft Power BI Desktop	downloads.microsoft.com	443
Microsoft Silverlight	go.microsoft.com	443
Microsoft Skype Desktop Client	*.azureedge.net	443
Microsoft Visual Studio Code	code.visualstudio.com	443
Microsoft Windows 10アップグレード ³	content.tanium.com	443
Mozilla Firefox	releases.mozilla.org	443
Notepad++	notepad-plus-plus.org	443
Oracle Java Runtime	javadl.oracle.com	443
VideoLAN VLCメディアプレーヤー	download.videolan.org	443
VMware Workstation Player ⁴	download3.vmware.com	443
Wireshark	1.na.dl.wireshark.org	443
Zoom	d11yldzmag5yn.cloudfront.net	443

ソフトウェアパッケージ	ドメイン	ポート
Zoom Outlookプラグイン	zoom.us	443
<p>¹ アップデート操作のみ。</p> <p>² 削除操作のみ。</p> <p>³ Windows 10のオペレーティングシステムメディアは、このパッケージギャラリーテンプレートに含まれていません。詳細は、Taniumコミュニティ: Tanium DeployでWindows 10アップグレードを実行する方法: セットアップを参照してください。</p> <p>⁴ 更新および削除操作のみ。</p>		

Tanium ServerとModule Serverのサイジングガイドラインの詳細については、[Tanium Core Platformインストールガイド: ホストシステムサイジングガイドライン](#)を参照してください。

エンドポイント

ご利用の環境へのカスタマイズチューニングについては、テクニカルアカウントマネージャ(TAM)にお問い合わせください。詳細については、[Tanium Platformユーザーガイド: グローバル設定の管理](#)を参照してください。

システム環境変数

Deployのファイルパスを参照するときは、明示的なファイルパスより、環境変数の使用をお勧めします。この方法は、オペレーティングシステムの言語またはアーキテクチャに基づいて異なるパスから独立しており、実行時に動的なパスを構築することができます。

プロセスアーキテクチャ	システム環境変数	Path
32ビットWindowsの 32ビットプロセス	%PROGRAMFILES%	C:\Program Files
	%COMMONPROGRAMFILES%	C:\Program Files\Common Files

プロセスアーキテクチャ	システム環境変数	Path
64ビット Windowsの 32ビット プロセス	%PROGRAMFILES%	C:\Program Files (x86)
	%PROGRAMFILESX86%	C:\Program Files (x86)
	%COMMONPROGRAMFILES%	C:\Program Files (x86)\Common Files
	%COMMONPROGRAMFILES (X86) %	C:\Program Files (x86)\Common Files
	%COMMONPROGRAMW6432%	C:\Program Files\Common Files
	%PROGRAMW6432%	C:\Program Files

注意: %SystemDrive%、%SystemRoot%、%WinDir%など、Systemアカウントで使用できる追加の環境変数もサポートされています。

ホストとネットワークセキュリティの要件

Deployを実行するには、特定のポートとプロセスが必要です。

ポート

Deployの通信には、以下のポートが必要です。

コンポーネント	ポート	方向	目的
Module Server	17463	ループバック	内部使用、外部からアクセスできません

セキュリティの除外

未知のホストシステムプロセスを監視およびブロックするためにセキュリティソフトウェアが環境内で使用されている場合、セキュリティ管理者はTaniumプロセスを干渉なく実行できるように除外を作成する必要があります。

表 1: Deployのセキュリティ除外

ターゲットデバイス	プロセス
Module Server	<Tanium Module Server>\services\deploy-service\node.exe
エンドポイント	<Tanium Client>\Python27\TPython.exe
	<Tanium Client>\Tools\Deploy\py\deploy\tools\active-user-sessions.exe

ユーザーロールの要件

Deployは、Deployワークベンチへのアクセスを制御するRBACアクセス許可を使用します。事前定義された4つのロールは、Deploy管理者、Deployパッケージ管理者、Deployユーザー、Deploy読み取り専用ユーザーです。

表 2: Deployユーザーロールアクセス許可

アクセス許可	Deploy管理者	Deployパッケージ管理者	Deployユーザー	Deploy読み取り専用ユーザー
Show Deploy (Deployを表示)¹ Deployワークベンチの表示	2	2	2	2
Deploy Use API (DeployでAPIを使用) APIを使用してDeployの操作を実行する	2	2	2	2
Deploy Module Read (Deployモジュールの読み取り) Deployモジュールの読み取りアクセス				

アクセス許可	Deploy管 理者	Deployパツ ケージ管 理者	Deploy ユーザー	Deploy読 み取り専用 ユーザー
<p>Deploy Module Write (Deployモジュールへの書き込み)</p> <p>Deployモジュールへの書き込みアクセス</p>				
<p>Deploy Settings Write (Deploy設定の書き込み)</p> <p>Deployモジュールのグローバル設定への書き込みアクセス</p>				
<p>Deploy Deployments Write (Deployのデプロイ書き込み)</p> <p>デプロイの作成と変更</p>				
<p>Deploy Maintenance Windows Write (Deployのメンテナンスウィンドウ書き込み)</p> <p>メンテナンスウィンドウの作成、変更、削除</p>				
<p>¹ Deployをインストールするには、管理者の予約済みロールが必要です。</p> <p>² 提供された許可を示します。</p>				

表 3: 提供されたDeployマイクロ管理者とAsset拡張ユーザーロールアクセス許可

アクセス許可	ロールタイプ	アクセス許可コンテンツセット	Deploy管理者	Deployパッケージ管理者	Deployユーザー	Deploy読み取り専用ユーザー
Read User Group (ユーザーグループの読み取り)	Micro Admin					
Read Computer Group (コンピュータグループの読み取り)	マイクロ管理者					
Ask Dynamic Questions (動的なQuestionの実行)	高度					
Read Sensor (センサーの読み取り)	高度	予約				
Read Sensor (センサーの読み取り)	高度	デフォルト				
Read Sensor (センサーの読み取り)	高度	ベース				
Read Sensor (センサーの読み取り)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Read Action (アクションの読み取り)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Read Action (アクションの読み取り) ¹	高度	エンドユーザー通知				
Write Action (アクションの書き込み)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
アクションの書き込み ¹	高度	エンドユーザー通知				

アクセス許可	ロールタイプ	アクセス許可コンテンツセット	Deploy管理者	Deployパッケージ管理者	Deployユーザー	Deploy読み取り専用ユーザー
Approve Action (アクションの承認)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Execute Plugin (プラグインの実行)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Read Package (パッケージの読み取り)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Read Package (パッケージの読み取り) ¹	高度	エンドユーザー通知				
Write Package (パッケージの書き込み)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Read Saved Question (保存されたQuestionの読み取り)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Read Saved Question (保存されたQuestionの読み取り) ¹	高度	End-User Notifications				
Write Saved Question (保存されたQuestionの書き込み)	高度	コンテンツセットをデプロイする				
Write Saved Question (保存されたQuestionの書き込み) ¹	高度	エンドユーザー通知				

¹ Tanium End-User Notifications共有サービスがインストールされているときに提供された許可を示します。

コンテンツセットとアクセス許可の詳細および説明については、[Tanium Core Platformユーザーガイド: ユーザーとユーザーグループ](#)を参照してください。

Deployのインストール

Deployは[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページからインストールできます。

使用を開始する前に

- [リリースノート](#)をお読みください。
- [13ページの要件](#)を確認してください。
- 以前のバージョンからアップグレードする場合は、[24ページのDeployをアップグレードする](#)を参照してください。

Deployのインポート

[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページからDeployをインポートします。

注意: Active/ActiveのTanium Server構成で設定された環境では、このプロセスは両方のTanium Serverで実行する必要があります。

1. メインメニューから、[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]をクリックします。
2. [Tanium Deploy]で、[Import (インポート)]をクリックします。

注意: Tanium Deployはライセンスされたソリューションです。Tanium Deployが[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページからのインポートできない場合、テクニカルアカウントマネージャに連絡してください。

3. [Content Import Preview (コンテンツインポートのプレビュー)]ウィンドウでパッケージを展開して、インストールされるTaniumコンテンツを確認することができます。
4. [Include content set overwrite (コンテンツセット上書きを含める)]を有効にし、[Proceed with Import (インポートを続行する)]をクリックしてインポートを開始します。詳細については、[Tanium Core Platformユーザーガイド: モジュール用にコンテンツを整理する](#)を参照してください。
5. インストールプロセスが完了したら、[Close (閉じる)]をクリックします。
6. インストールを確認するには、[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページに戻り、[Installed: X.X.X.XX (インストール済み: X.X.X.XX)]バージョンのDeployを確認します。

ヒント: コンソールにDeployモジュールが表示されない場合は、ブラウザをリフレッシュしてください。

サービスアカウントを設定する

定期メンテナンスを行う場合は、コンテンツ管理者とDeploy管理者ロール、またはTanium管理者ロールを持つTaniumユーザーを指定します。これらの資格情報の指定は、1回限りの構成です。他の資格情報を追加する必要はありません。

1. Deployの[Home (ホーム)]ページから、[Configure Deploy (Deployの構成)]セクションで、[Configure Service Account (サービスアカウントの設定)]ステップをクリックし、[Configure Service Account (サービスアカウントの設定)]をクリックします。

注意: [Configure Deploy (Deployの構成)]セクションがDeployの[Home (ホーム)]ページに表示されない場合は、[Manage Home Page (ホームページの管理)]をクリックし、[Configure Deploy (Deployの構成)]を選択して[Save (保存)]をクリックします。

2. Taniumの資格情報を入力し、[Save (保存)]をクリックします。

Tanium End-User Notificationsをインストールする

Tanium End-User Notificationsソリューションをインストールすることで、ユーザーに展開とともに通知する、「システムが間もなく展開を開始する」、「展開を完了した」といった通知メッセージを作成でき、また、延期が有効になるとユーザーにデプロイを延期するまたは再起動をすぐ実行するといったオプションを提供できます。

詳細については、[Tanium End-User Notificationsユーザーガイド: End-User Notificationsのインストール](#)を参照してください。

コンピュータグループを整理する

パッケージまたはバンドルをデプロイする方法の1つは、コンピュータグループによるものです。関連するコンピュータグループを作成して、エンドポイントを整理します。次のオプションがあります:

- エンドポイントタイプ(サーバや従業員のワークステーションなど)
- エンドポイントの場所(国やタイムゾーンなど)
- エンドポイントの優先順位(ビジネスクリティカルなマシンなど)

詳細については、[Tanium Core Platformユーザーガイド: コンピュータグループの管理](#)を参照してください。

Deployのアクショングループにコンピュータグループを追加する

Deployのモジュールをインポートすると、特定のエンドポイントを対象とするアクショングループが自動的に作成されます。Deployアクショングループに含めるコンピュータグループを選択します。デフォルトでは、Deployはどのコンピュータも対象にしていません。

1. Deployの[Home (ホーム)]ページから、[Configure Deploy (Deployの構成)]セクションで、[Select Computer Groups (コンピュータグループの選択)]ステップをクリックし、[Configure Action Group (アクショングループの構成)]をクリックします。

注意: [Configure Deploy (Deployの構成)]セクションがDeployの[Home (ホーム)]ページに表示されない場合は、[Manage Home Page (ホームページの管理)]をクリックし、[Configure Deploy (Deployの構成)]を選択して[Save (保存)]をクリックします。

2. アクショングループに含めるコンピュータグループを選択します。複数のコンピュータグループを選択する場合は、オペランド(ANDまたはOR)を選択してグループを結合します。
3. (オプション)[All machines currently included in this action group (このアクショングループに現在含まれているすべてのマシン)]セクションで、含まれているエンドポイントを確認してください。

注意: これらの結果の取り込みには数分かかる場合があります。

4. [Save (保存)]をクリックします。

エンドポイントを初期化する

Deployは、対象にした各エンドポイントにツールセットをインストールします。エンドポイントを初期化すると、Deployサービスが開始され、Deployプロセスが実行されていないすべてのエンドポイントでプロセスが開始されます。

1. Deployの[Home (ホーム)]ページから、[Configure Deploy (Deployの構成)]セクションで、[Initialize Endpoints (エンドポイントの初期化)]ステップをクリックし、[Initialize Endpoints (エンドポイントの初期化)]をクリックします。

注意: [Configure Deploy (Deployの構成)]セクションがDeployの[Home (ホーム)]ページに表示されない場合は、[Manage Home Page (ホームページの管理)]をクリックし、[Configure Deploy (Deployの構成)]を選択して[Save (保存)]をクリックします。

2. パスワードを入力し、[Confirm (確認)]をクリックします。

注意: 最初のツールのデプロイ後、エンドポイントでステータスが表示されるまでに最大4時間かかることがあります。

Deployをアップグレードする

DeployをTanium Consoleにインポートしてアップグレードすることができます。

注意: Active/ActiveのTanium Server構成で設定された環境では、このプロセスは両方のTanium Serverで実行する必要があります。

1. メインメニューから[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]を選択します。
2. Deployを検索して[Upgrade to<version> (<バージョン>にアップグレード)]をクリックします。
インストールパッケージがダウンロードされると、進捗バーが表示されます。
3. [Continue (続行)]をクリックします。
[Import Solution (ソリューションのインポート)]ページが開き、すべての変更とインポートオプションのリストが表示されます。
4. [Include content set overwrite (コンテンツセット上書きを含める)]を有効にし、[Proceed with Import (インポートを続行する)]をクリックしてインポートを開始します。
詳細については、[Tanium Core Platformユーザーガイド: モジュール用にコンテンツを整理する](#)を参照してください。
5. アップグレードが完了したら、[Close (閉じる)]をクリックします。
6. アップグレードを確認するには、[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]ページに戻り、[Installed: X.X.X.XX (インストール済み: X.X.X.XX)]バージョンのDeployを確認します。

ヒント: Deployのバージョンがコンソールで更新されていない場合は、ブラウザをリフレッシュしてください。

7. Deploy 1.1以降にアップグレードした場合、再度[22ページのサービスアカウントを設定する](#)を設定し、[23ページのエンドポイントを初期化する](#)する必要があります。

次にやるべきこと

Deployの使用について詳しくは、[12ページのはじめに](#)を参照してください。

パッケージとバンドルの管理

ソフトウェアパッケージを使用して、対象コンピュータのソフトウェアをインストール、更新、または削除します。ソフトウェアバンドルを使用して、デプロイするソフトウェアパッケージのシーケンスリストを指定します。

使用を開始する前に

適用範囲チェックおよびコマンドラインによる操作の場合、すべてのエンドポイントに必要なシステム環境変数が定義されていることを確認してください。詳細については、[15ページのシステム環境変数](#)を参照してください。

ソフトウェアパッケージを作成する

1. Deployメニューから、**[Software (ソフトウェア)]**をクリックし、それから**[New Software Package (新しいソフトウェアパッケージ)]**をクリックします。
2. **[Package Files (パッケージファイル)]**セクションで、**[Add (追加)]**をクリックして、ローカルファイル、リモートファイル、またはリモートフォルダを追加します。
これらは、管理されたデバイスにアプリケーションをサイレントインストールするために必要なファイルです。たとえば、msiまたはexeインストーラ、リソースファイルまたはフォルダ、構成ファイル、カスタムスクリプト、カスタムレジストリファイル、ライセンスキーなどです。

重要: リモートファイルまたはリモートフォルダを選択する場合は、Tanium Deploy サービスを実行するアカウントがリモートロケーションにアクセスできることを確認してください。デフォルトでは、Tanium Deployサービスはローカルシステムコンテキストで実行されます。非表示または管理用のUNC共有は、Tanium Deploy内ではサポートされていません。

3. **[General Information (一般情報)]**セクションでは、一般情報を提供し、**[Upload Icon (アップロードアイコン)]**をクリックしてアイコンをアップロードし、OSプラットフォームを選択します。

ヒント: パッケージファイルに1つ以上のWindowsインストーラパッケージ(MSIファイル形式)が含まれている場合は、**[Inspect(検査)]**をクリックして.msiファイルから一般情報を抽出し、事前入力された情報を確認します。**[Inspect (検査)]**をクリックしても、以前に手動で入力した情報は上書きされません。

4. **[Deploy Operations (デプロイ操作)]**セクションでは、デプロイ操作を選択します。
[Install (インストール)]、**[Update (更新)]**、または**[Remove (削除)]**。
5. **[System Requirements (システム要件)]**セクションでは、パッケージがエンドポイントで実行されるための最小システム要件を指定します。
6. **[Requirements (要件)]**セクションでは、前提条件ソフトウェアの検出ルールリストを追加します。詳細については、[28ページの適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数](#)と[28ページのWMIクエリ](#)を参照してください。
7. (任意)更新の操作が選択されている場合は、以前のバージョンの検出ルールリストを追加します。詳細については、[28ページの適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数](#)と[28ページのWMIクエリ](#)を参照してください。
8. **[Deploy Operation (デプロイ操作)]**セクションでは、このパッケージで有効にしたDeploy操作の条件付きコマンドを追加します。詳細については、[28ページの適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数](#)を参照してください。

実行中のプロセスの確認

プロセス名を指定し、プロセスをキルまたは一時停止するかどうかを選択できます。

ファイルフォルダ

ファイルまたはフォルダのコピー、フォルダの作成、ファイルまたはフォルダの削除、ファイルまたはフォルダの解凍、ファイルまたはフォルダの名前変更ができます。ファイルの解凍でサポートされているファイルタイプは7z、tar、zip、bzip2、gzip、xz、およびZです。

コマンドの実行

実行するコマンドのインストール、更新、または削除を指定でき、コマンドを**[System (システム)]**または**[Active User (アクティブユーザー)]**として実行するか選択できます。

Tanium Clientファイルリクエスト

HTTP(S)アドレスまたはUNCファイルパスとファイル名を指定できます。入力するURIはすべて、Tanium Serverでホワイトリストに登録される必要があります。詳細については、[Tanium Platformユーザーガイド：ホワイトリストに登録されたURLの管理](#)を参照してください。

9. **[Install Verification (インストール検証)]**セクションでは、インストール検証用の検出ルールリストを追加します。詳細については、[28ページの適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数](#)と[28ページのWMIクエリ](#)を参照してください。

10. **[Create Package (パッケージの作成)]**をクリックします。**[Save and Finish Later (保存して後で終了)]**をクリックして、パッケージの作成を後で終了することもできます。

適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数

ソフトウェアパッケージを作成する際に、適用範囲のスキャンとコマンドライン操作のための変数として、`||PROGRAMFILES32BIT||`、`||PROGRAMFILES||`、

`||ACTIVEUSERPROFILE||`または`||ACTIVEUSERREGISTRY||`を使用できます。

[Requirements (要件)]、**[Update Detection (更新の検出)]**および**[Install Verification (インストールの検証)]**セクションでは、**[Registry Path (レジストリパス)]**、**[Registry Data (レジストリデータ)]**、**[File Path (ファイルパス)]**または**[File Version (ファイルバージョン)]**フィルタフィールドを選択すると、それらの変数を使用することができます。

インストーラーアーキテクチャ	変数	パス
32ビットエンドポイント上の32ビット	<code> PROGRAMFILES32BIT </code>	<code>C:\Program Files</code>
64ビットエンドポイント上の32ビット	<code> PROGRAMFILES32BIT </code>	<code>C:\Program Files (x86)</code>
32ビットエンドポイント上の64ビット	<code> PROGRAMFILES </code>	<code>C:\Program Files</code>
64ビットエンドポイント上の64ビット	<code> PROGRAMFILES </code>	<code>C:\Program Files</code>
任意	<code> ACTIVEUSERPROFILE </code>	アクティブな認証ユーザーのプロファイルディレクトリ (例: <code>C:\users\john.smith</code>)
任意	<code> ACTIVEUSERREGISTRY </code>	アクティブな認証ユーザーのレジストリハイブ (例: <code>HKEY_USERS\USER-SID\</code>)

WMIクエリ

WMIクエリを使用すると、ソフトウェアパッケージ内の任意の検出ルールについてWMIクラスから情報をクエリできます。WMIクエリを使用すると、`Win32_Product` WMIクラスに対してクエリを実行できません。

詳細については、[\[Microsoft Documentation\]: Win32_Product class](#)を参照してください。

ソフトウェアパッケージをエクスポートする

ソフトウェアパッケージをエクスポートして、後で別のサーバにパッケージをインポートしたり、削除したパッケージを再作成したりすることができます。

1. Deployメニューから、[**Software (ソフトウェア)**]をクリックします。
2. パッケージの名前をクリックし、エクスポート をクリックします。

ZIPファイルはダウンロードフォルダにあります。


ソフトウェアパッケージをインポートする

以前にエクスポートしたソフトウェアパッケージを別のサーバにインポートするか、削除したパッケージを再作成することができます。

1. Deployメニューから、[**Software (ソフトウェア)**]をクリックし、それから[**Import Package (パッケージのインポート)**]をクリックします。
2. 以前にエクスポートしたZIPファイルを参照し、[**Import (インポート)**]をクリックします。
3. [**Upload File (ファイルをアップロード)**]をクリックして必要なファイルをアップロードします。
4. [**Import (インポート)**]をクリック、または重複したパッケージをインポートする場合は [**Import Duplicate (重複のインポート)**]をクリックします。
5. パスワードを入力し、[**Confirm (確認)**]をクリックします。

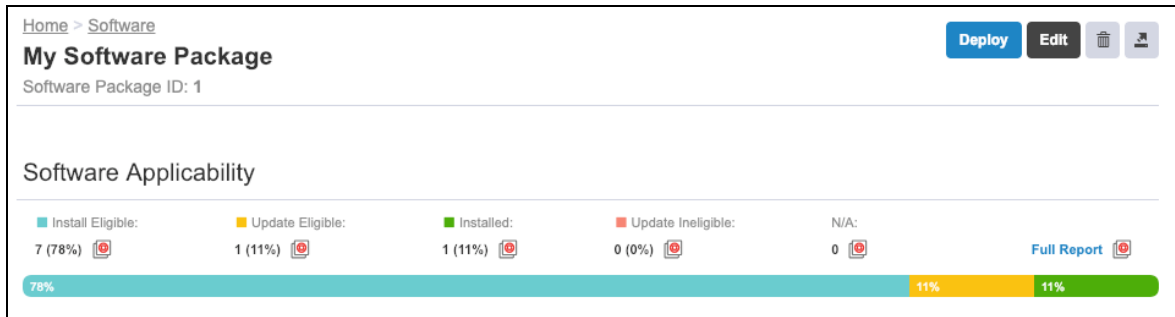
ソフトウェアパッケージカタログを配布する

ソフトウェアパッケージを作成または編集した後、ソフトウェアパッケージカタログをエンドポイントに配布するように求められます。[**Distribute Catalog (カタログを配布)**]をクリックして、パスワードを入力し、[**Confirm (確認)**]をクリックします。エンドポイントが更新されたソフトウェアパッケージカタログを受け取ると、パッケージの適用範囲を表示できます。

 New/Updated software packages are pending: **Distribute the software package catalog.** [Distribute Catalog](#)

ソフトウェアパッケージの適用範囲を表示する

1. Deployメニューから、[**Software (ソフトウェア)**]をクリックします。
また、パッケージ名をさらにクリックして、ソフトウェアパッケージの適用範囲を表示することもできます。



2. 特定の適用範囲状態の詳細については、Interact をクリックしてください。
3. **[Full Report (フルレポート)]**をクリックしてエンドポイントの適用範囲の詳細を表示することもできます。

Computer Name ↑	Operating System	Applicability	Reasons
<input type="checkbox"/> Client1	Windows 7 Enterprise	Install Eligible Install Eligible Install Eligible Install Eligible	Application name contains PuTTY and \ System requirements met Application name contains PuTTY and \ Registry path HKEY_LOCAL_MACHINE
<input type="checkbox"/> Client2	Windows 7 Enterprise	Update Eligible Update Eligible Update Eligible Update Eligible	System requirements met Application name contains PuTTY and \ Application name contains PuTTY and \ Registry path HKEY_LOCAL_MACHINE
<input type="checkbox"/> Client3	Windows 7 Enterprise	Install Eligible Install Eligible Install Eligible Install Eligible	Application name contains PuTTY and \ System requirements met Application name contains PuTTY and \ Registry path HKEY_LOCAL_MACHINE
<input type="checkbox"/> Client4	Windows 7 Enterprise	Install Eligible Install Eligible Install Eligible Install Eligible	Application name contains PuTTY and \ System requirements met Application name contains PuTTY and \ Registry path HKEY_LOCAL_MACHINE

ソフトウェアバンドルを作成する

1. Deployメニューから、**[Software (ソフトウェア)]**をクリックし、それから**[Software Bundles (ソフトウェアバンドル)]**をクリックします。
2. **[New Software Bundle (新しいソフトウェアバンドル)]**をクリックします。
3. **[Software Bundle Details (ソフトウェアバンドルの詳細)]**セクションで、バンドル名と説明を指定し、OSのプラットフォームを選択します。

4. **[Add Software (ソフトウェアを追加)]**セクションでは、ソフトウェアオプションを選択します。
 - a. バンドルに追加するソフトウェアパッケージを選択します。
 - b. デプロイのアクション: **[Install (インストール)]**、**[Update (更新)]**、**[Remove (削除)]**、または**[Install OR Update (インストールまたは更新)]**を選択します。
 - c. パッケージが失敗した場合に、バンドルを終了するか続行するか選択します。

ヒント: パッケージをドラッグするか、パッケージ番号の横にある矢印をクリックして、パッケージの順序を変更できます。

5. **[Create Bundle (バンドルの作成)]**をクリックします。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルを編集する

パッケージまたはバンドルを編集するには、パッケージまたはバンドルの名前をクリックし、**[Edit (編集)]**をクリックします。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルを編集して保存すると、そのパッケージまたはバンドルのバージョン番号が大きくなります。既存のデプロイのすべては、更新されたソフトウェアパッケージカタログが配布されるまで、デプロイ時に指定されたバージョンを引き続き使用します。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルをコピーする

パッケージまたはバンドルをコピーするには、パッケージまたはバンドルの名前をクリックし、**[Copy (コピー)]**をクリックします。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルがコピーされると、名前の先頭に**[copy - (コピー -)]**が自動的に追加されます。

ソフトウェアパッケージまたはバンドルを削除する

パッケージまたはバンドルを削除するには、パッケージまたはバンドルの名前をクリックし、削除をクリックします。

注意: ソフトウェアパッケージまたはバンドルがアクティブなデプロイで参照されていない場合にのみ削除できます。

パッケージギャラリーの管理

Deploy 1.1には、[**Package Gallery (パッケージギャラリー)**]ページが導入されています。このページでは、定義済みのソフトウェアパッケージテンプレートをインポートできます。ソフトウェアパッケージギャラリーを使用して、サードパーティのソフトウェアパッケージテンプレートをインポートし、一群の対象コンピュータ上のソフトウェアをインストール、更新、または削除します。

注意: Taniumは、サードパーティのソフトウェアインストーラを再パッケージ化または再配布しません。Taniumソフトウェアパッケージテンプレートは、サードパーティベンダーからソフトウェアインストーラを直接ダウンロードするためのリモートファイルパスを提供します。サードパーティ製ソフトウェアをTaniumソフトウェアパッケージカタログにインポートする前に、該当するサードパーティ製エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)を確認する必要があります。Taniumは、お客様に代わってサードパーティソフトウェアベンダーからのEULAを受け入れることについて一切責任を負いません。

使用を開始する前に

適用範囲チェックおよびコマンドラインによる操作の場合、すべてのエンドポイントに必要なシステム環境変数が定義されていることを確認してください。詳細については、[15ページのシステム環境変数](#)を参照してください。

パッケージギャラリーからソフトウェアパッケージをインポートする

1. Deployメニューから、[**Software (ソフトウェア)**]をクリックし、それから[**Packages Gallery (パッケージギャラリー)**]をクリックします。
2. インポートするパッケージの[**Import (インポート)**]をクリックし、[**Yes (はい)**]をクリックしてアクションを確定します。

ヒント: 複数のパッケージを同時にインポートするには、インポートするパッケージを選択し、[**Import (インポート)**]をクリックします。

3. [**Distribute Catalog (カタログの配布)**]を選択して、[**Yes (はい)**]をクリックしアクションを確定します。

パッケージギャラリーからパッケージをインポートしてカタログを配布した後は、パッケージをデプロイ、編集、削除、またはエクスポートできます。

ヒント: Oracle Java 8パッケージをインポートして以前のバージョンのJavaを削除する場合は、ソフトウェアパッケージの[Update Command (更新コマンド)]フィールドのrunコマンドの最後にREMOVEOUTOFDATEJRES = 1を追加できます。

ソフトウェアパッケージカタログに新しいパッケージを置き換えるか追加する

インポートしようとしているソフトウェアパッケージがソフトウェアパッケージカタログにすでに存在する場合は、再度インポートする前に2つのオプションが表示されます。既存のパッケージを置き換える場合、[Replace existing (既存を置き換える)]を選択します。パッケージをインポートするだけでなく、既存のパッケージも保持する場合は、[Save as another software package (別のソフトウェアパッケージとして保存)]を選択します。その後、ソフトウェアパッケージカタログに一意のレコードを作成するために、少なくとも1つのフィールドを更新する必要があります。

Software Package Already Exists

Adobe Flash Player (Internet Explorer - ActiveX) 31.0.0.108 already exists. Select from the following options to proceed.

Replace existing

Save as another software package
Modify the Product Vendor, Product Name, or Product Version.

Product Vendor:

Product Name:

Product Version:

パッケージとバンドルのデプロイ

概要

デプロイを実行して、ターゲットコンピュータのセットにソフトウェアをインストール、更新、またはアンインストールします。デプロイは、以下の要件を満たすために1回、または継続して実行することができます。

- 運用上の衛生管理とシステムベースラインを維持します。
- 短期間オンラインであるシステムを管理します。
- システム状態の変化に応じて適用可能になるパッケージを再実行します。

重要: デプロイオプションで[Override maintenance window (メンテナンスウィンドウの上書き)]が選択されていない限り、デプロイはメンテナンスウィンドウ外では実行されません。他のデプロイを実行するために少なくとも1つのメンテナンスウィンドウを作成する必要があります。メンテナンスウィンドウ作成の詳細については、[44ページのメンテナンスウィンドウの管理](#)を参照してください。

使用を開始する前に

- ソフトウェアパッケージまたはバンドルを作成します。[26ページのパッケージとバンドルの管理](#)を参照してください。
- デプロイの開始またはデプロイ後の再起動について、エンドポイントのエンドユーザーに通知する場合は、Tanium End-User Notificationソリューションをインストールします。[Tanium End-User Notificationsガイド: End-User Notificationsのインストールと36ページのエンドポイントの再起動](#)を参照してください。

ソフトウェアパッケージのデプロイを作成する

ソフトウェアパッケージをデプロイするには、パッケージ名をクリックしてから、[Deploy (デプロイ)]をクリックします。

1. デプロイの詳細を指定します。
2. ソフトウェアパッケージの操作を選択します。
3. デプロイの対象を少なくとも1つ選択します。

4. パッチの適用オプションを選択します。

- a. このデプロイテンプレートをベースにパッチ適用を行うかどうかを選択します。このテンプレートに基づいて新しいパッチの適用テンプレートを作成するには、**[Create Deployment Template (パッチの適用テンプレートの作成)]**を選択します。詳細については、[42ページのパッチ適用テンプレートの作成](#)を参照してください。
- b. デプロイ時間を指定します。
ブラウザ時刻またはエンドポイントの現地時間を選択できます。
- c. パッチの適用タイプを指定します。個々の開始時刻と終了時刻を使用して1回だけパッチを適用する単独型、終了時刻を指定しないでパッチを適用する継続型のいずれかを行うことができます。
- d. エンドポイントでインストール前にデプロイコンテンツをダウンロードするには、**[Download immediately (すぐにダウンロード)]**を選択します。
- e. デプロイに関するエンドユーザー通知を有効にすることができます。**[Pre-Notify User (ユーザーへの事前通知)]**セクションの**[Notify User (ユーザーに通知)]**を選択します。それから、ユーザーによるデプロイの開始延期を可能にする設定を構成できます。また、ユーザーへデプロイについて通知する**[Message Content (メッセージの内容)]**を構成する必要があります。メッセージと延期のオプションを表示するウィンドウをプレビューするには、**[Show Preview (プレビューを表示)]**をクリックします。

The screenshot shows the 'Pre-Notify User' configuration panel. The 'Notify User' checkbox is checked. Below it, the 'Allow User to Postpone' checkbox is also checked. There are three rows of dropdown menus: 'Duration of Postponement' (1 Days), 'User Postponement Options' (1, 2, 4, 10 Hours), and 'Countdown to deadline' (10 Minutes). The 'Message Content' section has a 'Show Preview' button in the top right. It contains a 'Title' field with 'Deployment Starting', a 'Title Icon' field with a 'Choose File' button and 'Suggested size: 32x32px', a 'Body' field with 'IT is going to start a deployment to install software.', and a 'Body Image' field with a 'Choose File' button and 'Suggested size: 120x120px'.

- f. CPUの並行使用とディスクの入出力を最小化するために、**[Distribute over time (長期配布)]**を選択して時間を指定します。
- g. デプロイの制限を無視する場合は、**[Override Maintenance Windows (メンテナンスウィンドウの上書き)]**を選択します。

- h. エンドポイントを再始動するかどうかを選択します。詳細については、[36ページのエンドポイントの再起動](#)を参照してください。
- i. 再起動の有無にかかわらず、デプロイの完了に関するエンドユーザー通知を有効にすることができます。[Post-Notify User (ユーザーへの事後通知)]セクションの[Notify User (ユーザーに通知)]を選択します。エンドポイントの再起動を有効にした場合は、ユーザーが再起動を延期できるように設定を構成することができます。また、ユーザーに再起動について通知する[Message Content (メッセージの内容)]を構成する必要があります。メッセージと延期のオプションを表示するウィンドウをプレビューするには、[Show Preview (プレビューを表示)]をクリックします。

The screenshot shows a configuration interface for 'Post-Notify User'. At the top, there is a 'Restart' section with radio buttons for 'Yes' (selected) and 'No'. Below this is the 'Post-Notify User' section, which is currently expanded to show the 'Notify User' options. The 'Notify User' section includes a checked checkbox for 'Allow User to Postpone'. Underneath, there are three rows of 'User Postponement Options', each with a dropdown menu and a unit selector: '1 Days', '2 Hours', and '4 Hours'. A 'Countdown to deadline' option is set to '10 Minutes'. Below these options is the 'Message Content' section, which includes a 'Title' field with the text 'Reboot Required', a 'Title Icon' field with a 'Choose File' button and a 'Suggested size: 32x32px' note, and a 'Body' field with the text 'IT needs to reboot your system to deploy software.'. There is also a 'Body Image' field with a 'Choose File' button and a 'Suggested size: 120x120px' note. A 'Show Preview' button is located in the top right corner of the 'Message Content' section.

5. [Create Deployment (デプロイの作成)]をクリックします。

エンドポイントの再起動

更新プログラムがインストールされた後、Deployがシステムを再起動することがあります。次のような再起動に対するオプションを選択できます。

- 適用後に、サイレントモードで直ちに再起動します。このオプションは、通常、メンテナンスウィンドウおよび変更管理プロセスと合わせて、サーバおよび本稼動マシンに使用されます。
- システムユーザーに保留中の再起動について通知し、指定された時間の間、再起動を延期するオプションをシステムユーザーに与えます。次のオプションを構成します。

Duration of Postponement (延期の期間)

エンドポイントを再起動するまでの時間を分数、時間数、または日数で指定します。期限は、各エンドポイントで適用が完了した時間に、この値を加算することで算出されます。

Countdown to deadline (期限までのカウントダウン)

エンドポイントを再起動するどれだけ前に最終通知を表示するかを、分数で指定します。この通知は再起動までのカウントダウンも示します。この通知に対処しないと、1分後に再表示されます。このオプションは延期できない強制再起動を意味するものであるため、対処しない場合は値を下げてください。

Allow User to Postpone (ユーザーに延期を許可する)

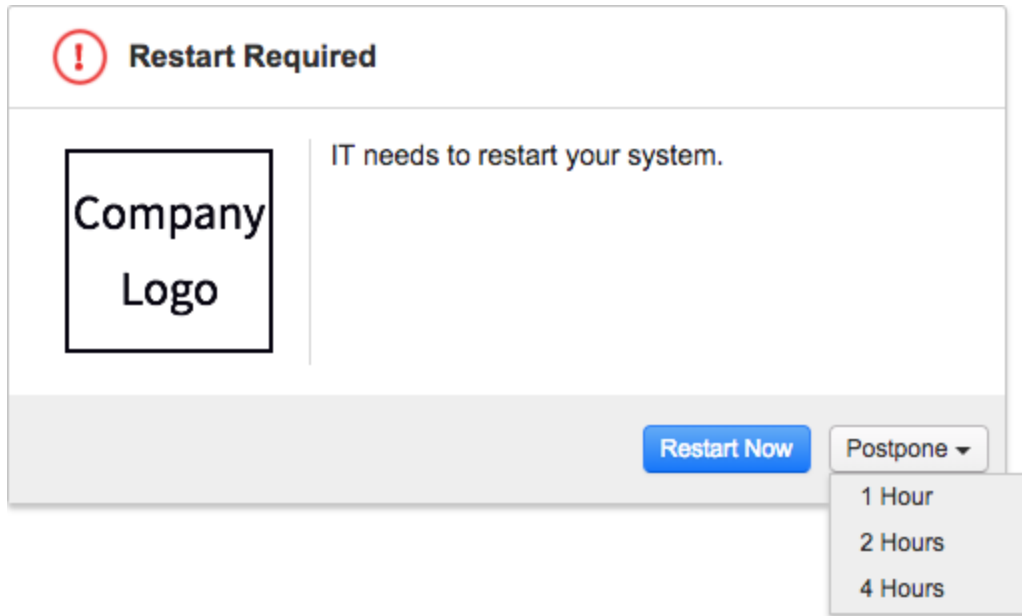
指定した時間だけ再起動を延期するオプションをユーザーに提示する場合は、このオプションを選択します。ユーザーはこの期限を過ぎて延期することはできません。

User Postponement Options (ユーザー延期オプション)

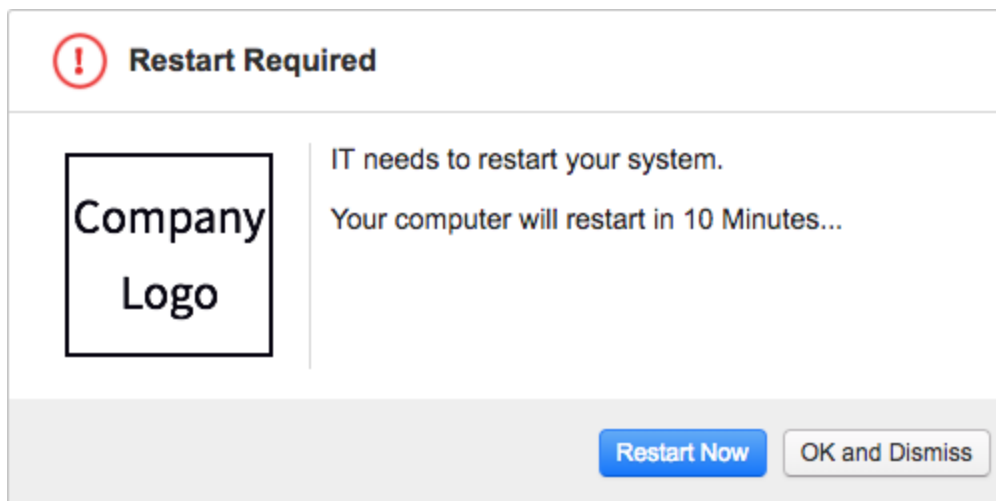
ユーザーが再起動を延期できる時間を分数、時間数、または日数で指定します。

Message Content (メッセージの内容)

通知メッセージのタイトルと本文を指定します。||OPERATION||、||PACKAGE||、||PACKAGENAME||、または||DEPLOYMENTNAME||をタイトルや本文内の変数として使用できます。ソフトウェアバンドルを展開する場合、||PACKAGENAME||変数にバンドル名を使用します。ユーザーを混乱させたり、サポートコールを制限したりするのを避けるため、区別を示すオプションのアイコンと本文の画像をアップロードします。**[Show Preview (プレビューを表示)]**をクリックして、通知をプレビューします。このメッセージは設定可能で、次の例のようになります。



再起動の期限が過ぎると、ユーザーには延期できないというメッセージが表示されます。



ヒント: エンドユーザーの通知は、パッチの適用を停止、再設定、および再発行することによって、既存のパッチの適用に追加できます。

注意: ユーザーが誰もエンドポイントにログインしていない場合は、パッチの適用時に通知するように設定されていても、パッチの適用完了直後にエンドポイントが再起動されます。

ソフトウェアバンドル用のデプロイを作成する

ソフトウェアバンドルはプラットフォーム固有であり、各ソフトウェアパッケージは個別に評価およびインストールされますが、指定されたOSプラットフォームでのみ使用できます。バンドルのデプロイ中に個々のパッケージのインストールが失敗した場合、バンドルを続行して残りのパッケージをインストールするか、または停止して失敗を報告するかのいずれかを選択します。

ソフトウェアバンドルを適用するには、バンドル名をクリックしてから、**[Deploy (デプロイ)]**をクリックします。

1. デプロイの詳細を指定します。
2. ソフトウェアバンドルの詳細を確認します。
3. デプロイの対象を少なくとも1つ選択します。
4. パッチの適用オプションを選択します。
 - a. このデプロイテンプレートをベースにパッチ適用を行うかどうかを選択します。このテンプレートに基づいて新しいパッチの適用テンプレートを作成するには、**[Create Deployment Template (パッチの適用テンプレートの作成)]**を選択します。詳細については、[42ページのパッチ適用テンプレートの作成](#)を参照してください。
 - b. デプロイ時間を指定します。
ブラウザ時刻またはエンドポイントの現地時間を選択できます。
 - c. パッチの適用タイプを指定します。個々の開始時刻と終了時刻を使用して1回だけパッチを適用する単独型、終了時刻を指定しないでパッチを適用する継続型のいずれかを行うことができます。
 - d. エンドポイントでインストール前にデプロイコンテンツをダウンロードするには、**[Download immediately (すぐにダウンロード)]**を選択します。
 - e. デプロイに関するエンドユーザー通知を有効にすることができます。**[Pre-Notify User (ユーザーへの事前通知)]**セクションの**[Notify User (ユーザーに通知)]**を選択します。それから、ユーザーによるデプロイの開始延期を可能にする設定を構成できます。また、ユーザーへデプロイについて通知する**[Message Content (メッセージの内容)]**を構成する必要があります。メッセージと延期のオプションを表示するウィンドウをプレビューするには、**[Show Preview (プレビューを表示)]**をクリックします。

- f. CPUの並行使用とディスクの入出力を最小化するために、**[Distribute over time (長期配布)]**を選択して時間を指定します。
- g. デプロイの制限を無視する場合は、**[Override Maintenance Windows (メンテナンスウィンドウの上書き)]**を選択します。
- h. エンドポイントを再始動するかどうかを選択します。詳細については、[36ページのエンドポイントの再起動](#)を参照してください。
- i. 再起動の有無にかかわらず、デプロイの完了に関するエンドユーザー通知を有効にすることができます。**[Post-Notify User (ユーザーへの事後通知)]**セクションの**[Notify User (ユーザーに通知)]**を選択します。エンドポイントの再起動を有効にした場合は、ユーザーが再起動を延期できるように設定を構成することができます。また、ユーザーに再起動について通知する**[Message Content (メッセージの内容)]**を構成する必要があります。メッセージと延期のオプションを表示するウィンドウをプレビューするには、**[Show Preview (プレビューを表示)]**をクリックします。

5. **[Create Deployment (デプロイの作成)]**をクリックします。

パッチの適用に関する要約を確認する

パッチの適用結果は、ステータス、エラーメッセージ、およびパッチの適用構成の詳細別を取得できます。

1. Deployメニューで、**[Deployments (デプロイ)]**をクリックします。
2. **[Active (アクティブ)]**または**[Inactive (非アクティブ)]**タブを選択します。
3. パッチの適用名をクリックします。
4. セクションを確認します。
 - **[Install/Install or Update/Update/Remove Summary (インストール/インストールまたは更新/更新/削除サマリ)]**には、パッケージ名、パッケージサイズ、および操作が表示されます。
 - **[Install/Install or Update/Update/Remove Status (インストール/インストールまたは更新/更新/削除ステータス)]**には、インストールステータス、オンラインエンドポイント数、およびステータスの最終更新日時が格納されます。エンドポイント別に結果が表示されるように、結果はInteractアイコンでステータス別に分割されています。
 - **[Error Messages (エラーメッセージ)]**には、簡単な説明、影響を受けるコンピュータの数、ドリルダウンするためのInteractアイコンなどがあります。
 - **[Deployment Details (パッチの適用の詳細)]**には、すべての構成情報が表示さ

れます。

- **[Targeted Computer (対象コンピュータ)]**には、デプロイの対象コンピュータグループが一覧表示されます。

パッチの適用を再発行する

停止したパッチの適用を再開したり、1回限りのパッチの適用を再発行したりすることもできます。パッチの適用を再発行すると、同じ構成と対象を持つ新しいパッチの適用が作成されます。

1. Deployメニューから、**[Deployments (デプロイ)]**をクリックします。
2. **[Inactive (非アクティブ)]**タブで、パッチ適用名をクリックします。
3. **[Reissue (再発行)]**をクリックします。
4. 必要に応じて変更してください。
5. 変更をプレビューします。
6. **[Create Deployment (デプロイの作成)]**をクリックします。

パッチの適用を停止する

パッケージまたはバンドルのデプロイを停止できますが、すでにインストールが完了しているパッケージは削除されません。

1. Deployメニューで、**[Deployments (デプロイ)]**をクリックします。
2. **[Active (アクティブ)]**タブで、デプロイ名をクリックします。
3. **[Stop (停止)]**をクリックします。
4. **[Inactive (非アクティブ)]**タブをクリックし、パッチの適用名をクリックしてステータスを確認します。

パッチ適用テンプレートの作成

デプロイテンプレートを作成でき、これに繰り返し発行するデプロイの設定を保存できます。パッチ適用テンプレートを作成するには、**[Deployment Templates (パッチの適用テンプレート)]**のメニュー項目からパッチ適用テンプレートを1つ選択するか、パッチの適用を作成するときにテンプレートとして保存するオプションを選択します。

1. Deployメニューで**[Deployment Templates (デプロイテンプレート)]**をクリックします。
2. **[Create Deployment Template デプロイテンプレートの作成]**をクリックします。
3. デプロイテンプレートの名前を指定します。

4. パッチの適用オプションを選択します。これらのオプションは、個々のパッチの適用で設定できるオプションと同じです。
5. [**Create Deployment Template デプロイテンプレートの作成**]]をクリックします。

このテンプレートは、パッチ適用を作成するときに使用できます。

メンテナンスウィンドウの管理

メンテナンスウィンドウは、コンピュータグループ上でパッチの適用が実行されるタイミングを制御します。メンテナンスウィンドウは、パッチの適用の開始と終了時刻から独立しています。デプロイを実行するには、設定された適用時間がメンテナンスウィンドウに一致しているか、適用に **[Override maintenance windows (メンテナンスウィンドウを上書き)]** オプションが設定されている必要があります。

適用オプションで **[Override maintenance windows (メンテナンスウィンドウを上書き)]** が選択されていない限り、適用はメンテナンスウィンドウ外では実行されません。他のデプロイを実行するために少なくとも1つのメンテナンスウィンドウを作成する必要があります。

メンテナンスウィンドウのオプション

使用環境に最も適した時間帯にメンテナンスウィンドウを構成できます。コンピュータグループに対して強制的にメンテナンスウィンドウを適用します。複数のメンテナンスウィンドウは複数回デプロイ操作を許可するよう指定して、コンピュータグループに作用させることができます。

希望する時間枠	日付と時刻の後に選択するもの
ワンタイム時間枠	[Does Not Repeat (繰り返し無し)]
数日おきに繰り返される時間枠	[Daily (毎日)] と時間枠が開く日間隔
毎週同じ曜日に繰り返される時間枠	[Weekly (毎週)] 、時間枠間の週数、および時間枠が開く曜日
毎月同じ日に繰り返される時間枠	[Monthly (毎月)] 、時間枠が開く月間隔、および [Day of the Month (日)]
毎月同じ日に繰り返される時間枠	[Monthly (毎月)] 、時間枠が開く月間隔、および [Day of the Week (曜日)]
毎年同じ日に繰り返される時間枠	[Yearly (毎年)] と時間枠が開く年数の間隔

重要: メンテナンスウィンドウを繰り返さず、コンピュータグループに対して1度だけ実行する場合は、時間枠の終了後にはデプロイを実行できません。

メンテナンスウィンドウを作成する

エンドポイントに実行が実行されている場合、複数のメンテナンスウィンドウを作成してカスタマイズすることができます。たとえば、ネットワークの使用が少ない時間帯や就業時間外に適用する時間枠を作成することができます。

1. Deployメニューから[**Maintenance Windows (メンテナンスウィンドウ)**]をクリックします。
2. [**Create Window (時間枠の作成)**]をクリックします。
3. ウィンドウに名前。
4. ブラウザの時間またはエンドポイントの現地時間から選択します。
5. 時間枠の繰り返しを構成します。
 - a. 繰り返すタイムフレームを選択します。
 - b. 週や曜日、繰り返しの頻度などの追加オプションを設定します。
6. 日付と時刻のピッカーを使用して、時間枠の開始時刻と終了時刻を設定します。

注意: メンテナンスウィンドウが繰り返される場合、終了日はありません。メンテナンスウィンドウを停止するには、対象のコンピュータグループに対する強制を削除する必要があります。

7. [**Create (作成)**]をクリックします。
8. 1つまたは複数の対象コンピュータグループを追加します。

メンテナンスウィンドウを編集する

1. Deployメニューから[**Maintenance Windows (メンテナンスウィンドウ)**]をクリックします。
2. 時間枠を選択します。
3. [**Edit (編集)**]をクリックします。
4. 変更します。
5. 変更をプレビューします。
6. [**Save (保存)**]をクリックします。

メンテナンスウィンドウを上書きする

適用中に[**Override maintenance windows (メンテナンスウィンドウの上書き)**]オプションを設定することでメンテナンスウィンドウ外に適用できます。詳細については、[34ページのパッケージとバンドルのデプロイ](#)を参照してください。

メンテナンスウィンドウを削除する

強制が削除された後、メンテナンスウィンドウを削除できます。

1. Deployメニューから[**Maintenance Windows (メンテナンスウィンドウ)**]をクリックします。
2. 時間枠を選択します。
3. 時間枠がコンピュータグループに対して強制されている場合は、すべてのグループを削除します。
4. 右上の[**Delete (削除)**]をクリックします。
5. 削除を確認します。

セルフサービスアプリケーションの使用

エンドポイントでセルフサービスアプリケーションを使用するには、Deployバージョン1.2以降でセルフサービスプロファイルを作成する必要があります。

使用を開始する前に

- Tanium End-User Notificationsバージョン1.5以降をインストールします。詳細については、[Tanium End-User Notificationsユーザーガイド: End-User Notificationsのインストール](#)を参照してください。
- 1つ以上のソフトウェアパッケージまたはバンドルを作成します。詳細については、[26ページのパッケージとバンドルの管理](#)を参照してください。

セルフサービスプロファイルを作成する

1. Deployメニューから、**[Self Service Profiles (セルフサービスプロファイル)]**をクリックし、**[New Profile (新しいプロファイル)]**をクリックします。
2. プロファイルの名前と、任意で説明を入力します。
3. コンピュータグループを選択するか、コンピュータグループを定義します。
4. プロファイルに含める、またはプロファイルから削除するパッケージまたはバンドルを選択します。
 - a. デフォルトで、セルフサービスアプリケーションで各パッケージをインストール、更新、削除することができます。ユーザーがこれらの操作を実行しないようにするには、任意のオプションを選択解除できます。
 - b. ソフトウェアパッケージによりエンドポイントの再起動が必要な場合は、**[Requires Restart (再起動が必要)]**を選択できます。
5. **[Show preview to continue (プレビューを表示して続行)]**をクリックし、**[Create Profile (プロファイルを作成)]**をクリックします。

セルフサービスプロファイルを表示する

Deployメニューから、**[Self Service Profiles (セルフサービスプロファイル)]**をクリックし、すべてのセルフサービスプロファイルを表示します。

このページには、現在定義されているすべてのプロファイルと、それらのプロファイルに関する基本情報が表示されます。プロファイルを展開して、プロファイルに関する詳細を表示できます。定義済みソフトウェアパッケージと各パッケージに関連付けられている許可されたアクションを

含みます。この展開した詳細には、プロファイルの対象となるグループまたは質問も表示されます。

セルフサービスプロファイルを編集する

セルフサービスプロファイルを編集するには、プロファイル名の横の編集 をクリックします。プロファイル名をクリックしてから[Edit (編集)]をクリックすることもできます。

セルフサービスプロファイルを削除する

セルフサービスプロファイルを削除するには、プロファイル名をクリックし、削除 をクリックします。

使用統計情報を追跡する

セルフサービスアプリケーションで使用されるパッケージまたはバンドルのステータスを確認し、エンドポイントのセルフサービスアプリケーションの使用統計情報を追跡できます。

Deployメニューから、デプロイをクリックし、[Self Service (セルフサービス)]タブをクリックします。このページには、セルフサービスプロファイルに含まれるすべてのソフトウェアパッケージとバンドルが表示されます。また、各パッケージに対して特定の操作が実行された回数も示します。

エンドポイントでセルフサービスクライアントを使用する

セルフサービスクライアントには、次のタブが含まれます。

Dashboard (ダッシュボード)

[Dashboard (ダッシュボード)]タブは、直近に追加されたソフトウェアアプリケーションと現在のアクティビティを表示します。

Catalog (カタログ)

[Catalog (カタログ)]タブは、カタログで使用可能なソフトウェアアプリケーションのすべてを表示します。

History (履歴)

[History (履歴)]タブは、システムで発生し完了したアクティビティと、その結果を表示します。

Activity (アクティビティ)

[**Activity (アクティビティ)**]タブは、現在実行中または今後のアクティビティを表示します。完了したアクティビティは、[**History (履歴)**]タブへ移動します。

エンドポイントのソフトウェアアプリケーションをインストール、更新、または削除するには、セルフサービスクライアントアプリケーションを開きます。詳細については、[Tanium Support Knowledge Base: ユーザー向けTanium Deployエンドユーザーセルフサービス](#)を参照してください(ログインが必要です)。

Deployのトラブルシューティング

Deployが期待通りに機能しない場合は、トラブルシューティングや設定の変更が必要な場合があります。サポートが必要な場合は、テクニカルアカウントマネージャに連絡することもできます。

トラブルシューティングパッケージを収集する

ご自身でのレビューやサポート支援のため、トラブルシューティングに関連するDeployのログとファイルをコンパイルすることができます。

1. Deployのログを取得します。
 - a. Deployの[Home (ホーム)]ページからヘルプ をクリックします。
 - b. [Support (サポート)]タブをクリックし、[Collect (収集)]をクリックします。
 - c. [Status: (ステータス:)]が更新されたら、[Download (ダウンロード)]をクリックします。

ログのzipファイルをダウンロードするのに数分かかることがあります。ファイルのタイムスタンプの形式は、deploy-support-YYYY-MM-DDTHH-MM-SS.mmmZ です。

2. (任意)エンドポイントで、Tanium\Tanium Client\Tools\Deployフォルダをコピーします。
3. (任意)最近のDeployサービスジョブのステータスとログを表示します。
 - a. [Support (サポート)]タブで、[View Job Status (ジョブステータスの表示)]をクリックします。
 - b. [Job Detail (ジョブ詳細)]ウィンドウで、[Download Logs (ログをダウンロード)]をクリックし、最近のジョブに関する詳細情報を含むjob-log.txtファイルをダウンロードします。
 - c. 直近のエンドポイント初期化の詳細については、Deployの[Home (ホーム)]ページの[Configure Deploy (Deployの構成)]セクションにある[Initialize Endpoints (エンドポイントを初期化)]ステップから、[Show Details (詳細を表示)]と[Download Logs (ログをダウンロード)]をクリックすることもできます。

注意: [Configure Deploy (Deployの構成)]セクションがDeployの[Home (ホーム)]ページに表示されない場合は、[Manage Home Page (ホームページの管理)]をクリックし、[Configure Deploy (Deployの構成)]を選択して[Save (保存)]をクリックします。

エンドユーザー通知が表示されません

エンドユーザー通知がエンドポイントに表示されていない場合：

1. Tanium End-User Notificationsソリューションがインストールされていることを確認します。詳細については、[Tanium End-User Notificationsユーザーガイド：End-User Notificationsのインストール](#)を参照してください。
2. エンドポイントにエンドユーザー通知ツールがあるかどうかを確認するために次を実行します：`Get Has End User Notification Tools from all machines with Is Windows = "true"`
3. セキュリティソフトウェアの除外に\16ページのセキュリティの除外を参照してください。

ソフトウェアパッケージに対する適用範囲情報がありません

ソフトウェアパッケージの適用範囲は、ソフトウェアパッケージカタログに格納され、エンドポイントに配布されるパッケージ定義の適用ルールを使用して、エンドポイントで計算されます。

ソフトウェアパッケージの適用範囲情報が利用できない場合：

1. 次の方法で、ターゲットエンドポイントでDeployプロセスが実行されていることを確認します。
 - 次を実行します：`Get Deploy - Is Process Running from all machines`
 - エンドポイントのローカルの\
2. \- 3. \- 4. \- 5. 保存されたQuestionを読み込みます：**Deploy - ソフトウェアパッケージ適用範囲0**最初の200パッケージのパッケージIDと適用可能状態を表示します。この保存されたQuestionは、Deployサービスによって定義されたスケジュールで実行されます。これらの設定を必要に応じて調整するには、Deployの設定を確認します。保存されたQuestionを読み込むには：

1. メインメニューから、[Authoring (作成)] > [Saved Questions (保存された Question)]の順にクリックします。
2. [Deploy - Software Packages Applicability 0 (Deploy - ソフトウェアパッケージ適用範囲0)]行を選択し、[Load (読み込み)]をクリックします。

パッケージギャラリーページにソフトウェアがない

Deploy 1.1以降をインポートした後、[22ページのサービスアカウントを設定する](#)および[23ページのエンドポイントを初期化する](#)を再度行う必要があります。エンドポイントを初期化した後、[Packages Gallery (パッケージギャラリー)]ページにソフトウェアが表示されるまでに最大1時間かかることがあります。この時間制約を減らすためにTanium Deployサービスを再起動することもできます。

[Packages Gallery (パッケージギャラリー)]ページにソフトウェアがまだ表示されない場合は、次の手順を実行します。

1. メインメニューで[Content (コンテンツ)] > [Packages (パッケージ)]をクリックします。
2. Deploy - Software Package Galleryを検索します。
3. このパッケージがキャッシュされていることを確認してください。
 - a. [Size (サイズ)]列にPendingが表示されていないことを確認します。
 - b. サイズが1時間以上 Pendingのままの場合は、テクニカルアカウントマネージャに連絡してください。
4. Tanium DeployサービスがDeployパッケージギャラリーファイルを収集しようとしているかどうかを確認します。
 - a. [50ページのトラブルシューティングパッケージを収集する](#)。
 - b. ダウンロードしたサポートバンドルを開き、deploy-files\logs\Deploy.logファイルを開きます。
 - c. Ensuring software package gallery zip packageを検索します。
 - d. Deploy.logファイルにそのテキストが含まれていない場合は、再度[22ページのサービスアカウントを設定する](#)し、10～15分待ってから上記の手順を繰り返してログファイルを再確認します。
5. Tanium Server構成を再構成する必要があるかどうかを確認してください。
 - a. [50ページのトラブルシューティングパッケージを収集する](#)を再度行い、deploy-service\utils\tdownloader\win32\TDL_Logs\log0.txtファイルを開きます。
 - b. Peer certificate cannot be authenticated with given CA certificates (error code 60): SSL certificate problem: self signed certificateを検索します。

- c. log0.txtファイルにそのテキストが含まれている場合は、Tanium Serverが **Tanium Module Server: TrustedHostList**設定に追加されていることを確認し、Tanium Module Server上で、Tanium Deployサービスを再起動します。詳細については、[Tanium Core Platformユーザーガイド: プロキシサーバ設定を構成する](#)を参照してください。
6. 上記の手順を実行しても**[Packages Gallery (パッケージギャラリー)]**ページにソフトウェアが表示されない場合は、テクニカルアカウントマネージャにお問い合わせください。

Deployのアンインストール

Deployをアンインストールする必要がある場合は、まずエンドポイントでDeployアーティファクトをクリーンアップしてから、サーバ上のDeployをアンインストールします。

1. エンドポイントからデプロイアーティファクトをクリーンアップします。
 - a. Interactを使用してエンドポイントを対象にします。Deployのあるエンドポイントのリストを取得するには、次を実行します: `Get Deploy - Is Process Running from all machines`。
 - b. **[Deploy Action (アクションをデプロイ)]**をクリックします。 **[Clean Deploy Tools Folder (Deployツールフォルダのクリア)]**パッケージを選択します。
 - c. **[Actions (アクション)]**>**[Actions History (アクション履歴)]**ページのアクションステータスを確認します。
2. DeployソリューションをTanium Module Serverから削除します。メインメニューから、**[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]**をクリックします。
 - a. Deployセクションで、**[Uninstall (アンインストール)]**をクリックし、プロセスに従います。
 - b. **[Proceed with Uninstall (アンインストールを続行する)]**をクリックします。
 - c. アンインストーラは、アクションを無効にし、保存されたQuestionを再発行します。
 - d. **[Tanium Solutions (Taniumソリューション)]**ページに戻り、**[Import (インポート)]**ボタンがDeployで使用可能であるか確認します。
Deployモジュールがコンソールで更新されていない場合は、ブラウザをリフレッシュしてください。